

四国森林管理局入札等監視委員会審議概要

(ホームページ掲載日：令和3年8月2日)

開催日及び場所		令和3年6月24日（木曜日） 四国森林管理局 2階A会議室		
委員		中内 功（弁護士） 白山 晃嗣（公認会計士） 府川 一（税理士）		
審議対象期間		令和3年1月1日～3月31日		
審議対象案件		68件 うち、1者応札案件 43件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
抽出案件		13件 うち、1者応札案件 5件 (抽出率19%) (抽出率12%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率 -%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	5件 うち、1者応札案件 4件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	該当なし	
	業務	一般競争	該当なし	
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし
			簡易公募型プロポーザル	該当なし
			標準型プロポーザル	該当なし
			その他の随意契約	該当なし
	物品・役務等	一般競争	7件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	該当なし	
		随意契約（企画競争・公募）	該当なし	
		随意契約（その他）	1件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	(特記事項) なし			

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問 それに対する回答等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に工事関係で落札率が99%を超えるものが多く見受けられるが、何故このような状況になったと考えるか。 ・ 1者応札の改善に向け、応札者を募るために何か取り組んでいることはあるか。 ・ 「奈半利川地区平鍋（中）復旧治山工事（翌債）」については、予定価格が高い工事にも関わらず入札参加者が少ないのはなぜか。 ・ 入札を総合評価落札方式により行う場合は、応札金額のみでなく評価値により落札者を決定することのだが、この評価値についてはどのように算出するのか。 ・ 素材生産事業の入札状況を見ると、競争を行っている案件が従来より多いが、要因として考えられることは何か。 ・ 物品調達の競争参加資格に「修理等アフターサービスを速やかに提供できるものと認められる者であること。」との記載があるが、競争参加者を限定する要因とはならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事を実施するうえで積算の基礎となる歩掛り、労務単価、資材単価等といった因子については公表されており、事業者も過去の実績等を考慮することで予定価格に近い金額を積算できるのではないか。 ・ 平成30年度に発生した西日本豪雨により公共工事が増加した際、B等級工事の入札に参加できる者の資格等級の緩和、配置予定技術者が他の現場と掛け持ちをすることができるといった条件の緩和を行った。 ・ 当該工事は、事業地が奥地であることに加え、一般的な工事と違い資材の運搬にヘリコプターを使用しなければならないことから競争がなかったものとする。 ・ 応札者が提出する技術提案書により算出した技術点を応札金額で割ることにより算出される。 ・ 入札を執行した3月は、新型コロナウイルス感染症の関係により木材価格が下落した時期で、各事業体自らが木材を販売するより、請負事業を行った方が安定した収入を得られるといったことから競争が増えたものとする。 ・ 調達した物品に対する補償といったことで記載をしているが、決して近隣の業者に限定している訳ではない。 この部分の記載については、今後考えたい。
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し森林管理局長が講じた措置]	特になし	